

1.遊び場について

千葉大学の研究で小学生の約8割が平日に一度も外遊びができないと回答しています。
墨田区で子どもたちの遊び場や遊ぶ機会（遊びの時間、空間、仲間）を増やしたいと考えていますか？



あべ よしたけ

自由民主党
41歳



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくくない

外遊びができない理由が何なのか？

習い事が多くて遊びに行く時間がないのか？

子どもたちだけで安心して遊びに行かせられる場所がないのか？

共働きの為、万一何か起きた時に対応できないから保護者が遊びに行かせたくないのか？

それぞれの理由があると思います。

どうしたら、遊び場を提供する事ができるのかを考えた時に以前より参加させていただいている『キラキッズ』や『あそび大学』のようなモデルがあればとても良いと考えています。

このような取り組みにしっかり関わらせていただき支援していきたいと考えています。



えんどう ミホ

立憲民主党
46歳



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくくない

公園などの公衆トイレを安心して、清潔に利用できるようなするという公約を掲げています。

それはトイレだけがそうなるのではなくて、トイレがある場所全体がそういう場所にそういう場所にするという考えです。



おおこし 勝広

公明党
58歳



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくくない

魅力ある公園の再整備を推進（ハード&ソフト両面から）

①ハード・・・低利用公園を再整備し、遠くからでの行きたくなくなる公園に再整備

例：今年度、首都高向島線の高架下にある銅像堀公園が、我が会派のかねてからの要望により、スケートボードパークに再整備されます。これ以外に人気のバスケットボールのゴールがある公園を、計画的に民家が近くにない地域の公園などに整備を推進します。

②ソフト・・・パークマネジメント（公園における指定管理者制度の導入）の推進により、魅力的な公園管理（「公園利用者の倍増」を目指す。（港区のパークマネジメントを参考）



おまた 雄一

公明党
52歳



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくくない

公明党は公約として民間の力を活用して魅力的な公園を作るとしており、この中で場や時間や交流などを工夫したいと考えています。



かのう 進

公明党
64歳



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくくない

インクルーシブ公園の整備・充実、バスケットボールを含めボール遊びができる公園の増設



たかはし のりこ

公明党
50歳



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくくない

公明党はパークマネジメントなど民間活用で公園整備を提案しています。さらにそうした機会を増やす工夫をしていきたいと考えます。



たて又 じゅんや

無所属
27歳



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくくない

個人的には外で遊んだ方が良いと思いますが、今の時代はオンラインゲームで遠くにいる友達と遊んだり屋内でゲームをして遊ぶ方が楽しいのではないのでしょうか。

したくても遊ぶ場所がないというのは問題だと思います。遊んでいる子供達に対してのクレームで公園が閉鎖するというニュースを見ましたが、それは悲しいですし対策していきたいと考えます。



とも 宣子

公明党
59歳



絶対に増やす



増やしたい



あまり増やす気はない



増やす気はまったくくない

公明党は公約として、民間の力を活用して魅力的な公園を作るとしており、その検討の中でぜひ取り入れたい視点だと思います。また、自然の中での「体験活動」の充実も必要だと考えます。

	はねだ 福代	公明党 63歳	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			絶対に増やす	増やしたい	あまり増やす気はない	増やす気はまったくくない

	はら つとむ	日本共産党 41歳	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			絶対に増やす	増やしたい	あまり増やす気はない	増やす気はまったくくない

高速の高架下などを有効活用し、バスやスクーターのできる場所を増やす。夜遅く利用すると近所迷惑なため、監視員をシルバー人材センターなどに委託して、夕方6時くらいまでの利用とする。子ども専用にする。

	みやこし よしひと	無所属 44歳	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			絶対に増やす	増やしたい	あまり増やす気はない	増やす気はまったくくない

大事だと思いますが、新規のハード整備ではなく、現在の施設などの使用状況を現場の専門的な方たちと振り返り、すぐに対応すべき施策を打つべきだと考えます。

	井上 ノエミ	無所属 61歳	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			絶対に増やす	増やしたい	あまり増やす気はない	増やす気はまったくくない

ボール遊びを出来る公園を増やす、公園の遊具の整備、学校の放課後学童クラブを充実する

	加藤 ひろき	自由民主党 35歳	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			絶対に増やす	増やしたい	あまり増やす気はない	増やす気はまったくくない

	加藤 拓	自由民主党 43歳	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			絶対に増やす	増やしたい	あまり増やす気はない	増やす気はまったくくない

	高橋 まさとし	公明党 61歳	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			絶対に増やす	増やしたい	あまり増やす気はない	増やす気はまったくくない

	高柳 東彦	日本共産党 66歳	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			絶対に増やす	増やしたい	あまり増やす気はない	増やす気はまったくくない

校庭や公園にバスケットゴールを整備してほしいとの陳情が小学生から提出された。陳情は、自民党などが反対して不採択となったが、子どもたちの願いに応えたい。また、区は児童遊園などの公衆トイレを34カ所も削減する方針を策定し推進しているが、トイレの整備を含め、子どもたちが生き生きと安心して遊べる公園等の整備を進めたい

	佐藤 あつし	自由民主党 37歳	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			絶対に増やす	増やしたい	あまり増やす気はない	増やす気はまったくくない

- (1) 東武曳舟駅前再開発を進め、イトーヨーカドー前に大規模な芝生広場をつくります。この中で、千葉大学等と連携して、移動式遊び場などの提案を行います。
- (2) ボール遊びのできる公園を増やし、野球やサッカー、バスケットボールが自由にできる場所を増やします。
- (3) 子どもの遊具についても画一的なものではなく、子どもの遊びの創造性と事故予防を両立できる遊具を増やします。
- (4) 公園遊具の新設の際には、こども基本法第11条に基づく、こどもの等の意見反映権を重視し、こどもの意見を具体的に反映させます。

	山下 ひろみ	日本共産党 55歳	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			絶対に増やす	増やしたい	あまり増やす気はない	増やす気はまったくくない

	伊田 ちしゅう	立憲民主党 57歳	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			絶対に増やす	増やしたい	あまり増やす気はない	増やす気はまったくくない

	小島 ただふみ	NHK党 47歳	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			絶対に増やす	増やしたい	あまり増やす気はない	増やす気はまったくくない

まずは小さくても、安全を担保できる遊び場を増やした上で、政策面からどのようにすればもっと外で遊べる機会を増やせるのか考えていきたい

	小林 しょう	自由民主党 29歳	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			絶対に増やす	増やしたい	あまり増やす気はない	増やす気はまったくくない

	中村 あきひろ	立憲民主党 42歳	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			絶対に増やす	増やしたい	あまり増やす気はない	増やす気はまったくくない

子ども達が興味がある遊び場を提供する為には、例えば遊具や設置数が少ないバスケットゴール等、ニーズに合わせた公園づくりを実施して子供たちが集える魅力的な公園を作ります。

	中尾 さとし	自由民主党 48歳	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			絶対に増やす	増やしたい	あまり増やす気はない	増やす気はまったくくない

地域内の商工業者に協力して頂き、子ども達に職業体験をしてもらうなど、子ども達の遊ぶ機会を増やしていきます。

	木内 清	無所属 68歳	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			絶対に増やす	増やしたい	あまり増やす気はない	増やす気はまったくくない

「外遊びができない」その理由は様々かと思ます。
具体的にどのようなケースがあるのか、貴校の研究結果を参考にさせていただき、ぜひ勉強させていただきたいです。

今回の「遊び場」について、公園という観点から少し意見を申し上げたいと思います。
墨田区ではこれまで公園の改築に力を入れて参りました。
見晴らしを重視した公園や、旧式の遊具以外にも幼児期から遊べる遊具を設置するなど、総合的な遊具を配置し、子どもたちに選ばれる遊び場の実現を目指しました。緑町公園や若宮公園は具体的な例と言えるかと思ます。
ただ、墨田区は高齢者人口も多く、公園は様々な世帯が利用する ものです。高齢者の方にとっては、昔の公園のほうが運動がしやすい、とおっしゃっている声も伺います。
今の墨田区の構成を十分理解したうえで、子どもたちにとってどのように遊び場を提供するのが最適なのかを引き続き検討していきたいと考えております。
その為にも、専門性をもってご研究をされている貴校のご意見も、ぜひお伺いしたいです。

2.多子世帯について

極端な少子化傾向の一方で、多子世帯の子育ての困難さが浮き彫りとなっています。

多子世帯の子育て支援を行いたいと考えていますか？



あべ よしたけ

自由民主党
41歳



絶対に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない

私自身、3人の子供がいますが
3人居るとそれぞれの習い事や生活費もかなりのお金がかかってきます。
補助金など、ただお金を配るような政策だけではなく、習い事に補助金が出せるような仕組み作りを考えています。



えんどう ミホ

立憲民主党
46歳



絶対に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない

多子世帯にとっては、給食費の無償化がまず必要です



おおこし 勝広

公明党
58歳



絶対に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない

第3子からの学童保育料の無償化など



おまた 雄一

公明党
52歳



絶対に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない

都議会公明党が第2子以降の0-2歳の保育料無償化を行った。都と連携して多子世帯対策を進め区としても多子世帯の定住促進策などを進めたい



かのう 進

公明党
64歳



絶対に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない

学童保育保育料の2子以降の無償化



たかはし のりこ

公明党
50歳



絶対に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない

公明党は都議会・国会と子育て支援、多子世帯支援を推進しています。例えば、第2子以降の保育料無償化など。さらに拡充を推進していきます。



たて又 じゅんや

無所属
27歳



絶対に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない

1番の問題点は金銭面だと思いますが、お金で2人目や3人目の子供を諦める方々は多くいらっしゃるかと考えております。
保育費の負担は人数が増えると安くなります。同じように人数が増えても金銭的な負担が比例して大きくなるような負担軽減の(給食費など)提案はしていきたいと思います。



とも 宣子

公明党
59歳



絶対に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない

都議会公明党が第2子以降の0～2歳の保育料の無償化を実現しましたが、財源の問題もあり、今後も都と連携して多子世帯への支援を進め、区としても多子世帯への定住促進策など独自の政策を進めたい。



はねだ 福代

公明党
63歳



絶対に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない



はら つとむ

日本共産党
41歳



絶対支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない

保育料の軽減だけでなく、広い住まいを借りた際には、家賃助成を行う。金額やあり方は早期に検討し、実現を図る



みやこし よしひと

無所属
44歳



絶対支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない

多子世帯の方が利用しやすい支援をその方たちの目線でを行います。決して親の責任に転嫁せず、支援を活用される方が後ろめとなるような申請主義ではなくスティグマとなるようなことなく、支援を行います。



井上 ノエミ

無所属
61歳



絶対支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない

育児のサポーター制度（子育て経験のある女性を活用する）



加藤 ひろき

自由民主党
35歳



絶対支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない



加藤 拓

自由民主党
43歳



絶対支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない



高橋 まさとし

公明党
61歳



絶対支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない



高柳 東彦

日本共産党
66歳



絶対支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない

国民健康保険料には均等割という制度があり、収入のない子どもには課金されており、特に多子世帯には大きな負担となっている。子どもの均等割は廃止をめざしながら、区が全額を助成する。同様に、学校給食費も子どもが2人いれば月に1万円、3人いれば1万6千円を超えてしまう。学校給食費は無償化すべきと考えるが、少なくとも第2子以降は無償にする。



佐藤 あつし

自由民主党
37歳



絶対支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない

- (1) 保育園の送迎の際の負担軽減のため、同行支援を講じます（一部実施済）。
- (2) 保育園の布団力パー付け等、送迎時の負担を軽減するための方策を考えます。
- (3) 児童手当の所得制限撤廃に賛成します。



山下 ひろみ

日本共産党
55歳



絶対支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない



洪田 ちしゅう

立憲民主党
57歳



絶対に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない



小島 ただふみ

NHK党
47歳



絶対に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない

給食費・服飾費等、雑費を含め義務教育の完全無償化
多子世帯に限らず、児童手当の大幅な増額



小林 しょう

自由民主党
29歳



絶対に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない



中村 あきひろ

立憲民主党
42歳



絶対に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない

NPOと連携して、ご家庭の経済状況に関わらず、放課後の学びとしての習い事等の経済的支援を実施します。



中尾 さとし

自由民主党
48歳



絶対に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない

国及び都と連携しながら支援を行います。



木内 清

無所属
68歳



絶対に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援は考えていない



必要ない

悩み相談や健康相談は心理学の専門チームと連携をとって行う必要があると考えます。

お子様の1歳児検診や2歳児検診の際に専用の窓口をご案内しておりますが、忙しい育児の中実際に行動へ移し活用へしていただく、そこまでは繋がっていきにくいのが現状です。

そのような状況を踏まえ、例えばお子様の検診の際に、相談窓口が存在することを案内をするだけでなく、保護者へ向けた心理学的なセラピーを検診や予防接種時にセットで実施できる仕組みが有効ではないかと考えております。

議論と調整を進めていきたいと考えます。

3.いじめについて

ここ数年で小学校でのいじめの認知件数が大幅に増え、苦しんでいる子どもが増加していることが問題となっているなかで、いじめ対策を行いたいと考えていますか？



あべ よしたけ

自由民主党
41歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

小学校、中学校のPTA会長を合わせて5年勤めてきましたが
まだまだ学校が認知しきれていない事が多くあると思います。
子どもたちにしっかりと寄り添いいじめを撲滅する必要があります。
そうは言っても確実に無くす事は難しく、そういう状況になってしまっている子どもをいち早く察知して、スクールカウンセラーやホップなど、いじめから守ってあげる環境作りが大切と考えます。



えんどう ミホ

立憲民主党
46歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

まずは、いじめにあっている子どもが相談できる人を学校に配置し、学校と連携していじめを解決できるようにしたい



おおこし 勝広

公明党
58歳



絶対に支援したい



支援したいと考えている



積極的な支援とは考えていない



必要ない

3の質問について、過去5年間（H29～R3）ではR1*をピークに減少してきています。
（R4年度墨田区いじめ問題対策協議会資料より）
よって、まだまだ認知件数は高いものの、徐々に減少しており、「ここ数年で（中略）認知件数が増えている」というのは誤解があると思います。

いじめをしない、させない、許さない 環境をどう作っていくのか、行政だけでなく、地域も含めた見守りの体制が必要です。
墨田区ではいじめ防止プログラムをH27年度に策定し、H30年度に改訂を加えて、そのプログラムに基づきいじめ対策を推進しています。
このまま高止まりが続くようであれば、前回の改訂から5年が経過していることから、現場の状況を調査し、改めてプログラムを見直す必要があると考えます。緊急避難的施策を除き、具体的な政策はその次のプロセスになると考えます。



おまた 雄一

公明党
52歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

いじめの兆候を早期につかむため、学校、「地域、家庭」の連携を深める。またスクールカウンセラーなど専門家の拡充を都や国にも求めていく



かのう 進

公明党
64歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

墨田区いじめ防止対策推進条例、いじめ防止プログラム及び区立学校いじめいじめ防止基本方針の実効性の検証並びに必要な応じた見直し



たかはし のりこ

公明党
50歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

これまでいじめや不登校対策には力を入れて推進しています。子どもの変化に早期に気付ける体制を学校、地域、家庭などの連携により作っていく。子どもが気軽に相談できるスクールカウンセラーなどの拡充も推進したい。



たて又 じゅんや

無所属
27歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

いじめを起きないようにすることができれば一番良いと思いますが、それは難しいと思います。
特に子供の環境はいじめが発生することは必然だと私は考えているので、いじめが起きた後の対応に重点を置くべきだと思います。
今インターネットで話題になっているのは、そういったいじめ問題を隠蔽しようとしていたり、生徒とちゃんと向き合っていないことにより起きていていると思います。
小学校に限りませんが、問題を隠さないようにする組織体質が必要だと思います。
区議会にもそういった組織体質がありましたら、変えていきたいと思っています。



とも 宣子

公明党
59歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行動とは考えていない



必要ない

・党の公約として国立教育政策研究所に支援センターを設置し、教育や医療、心理、福祉などの専門家による国内外の専門的な知見の集積をもって対策を講じ、子どもたちを守り抜く支援体制を構築する。
・区にあっては、いじめの兆候を早期に察知するため、学校だけでなく、地域や家庭の情報連携を深め、重層的な対応ができるような体制を構築。併せて、スクールカウンセラーなど専門家を常駐できるように人材の確保について、都や国にも求めていく。



はねだ 福代

公明党
63歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行動とは考えていない



必要ない



はら つとむ

日本共産党
41歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行動とは考えていない



必要ない

相談できる場所をできる限り増やし、早期の発見につなげる。不登校になった場合は、学校以外の居場所をできる限り用意し、選択してもらう。



みやこし よしひと

無所属
44歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行動とは考えていない



必要ない

いじめ被害者のケアを最優先に、いじめの未然防止対策、いじめ加害者の医療・心理ケアなど複合的に急ぎ着手すべきだと考えます。



井上 ノエミ

無所属
61歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行動とは考えていない



必要ない

スクールカウンセリングの充実、学校での人種差別等を禁止する。



加藤 ひろき

自由民主党
35歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行動とは考えていない



必要ない



加藤 拓

自由民主党
43歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行動とは考えていない



必要ない



高橋 まさとし

公明党
61歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行動とは考えていない



必要ない



高柳 東彦

日本共産党
66歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行動とは考えていない



必要ない

30人以下学級を早期に実現して、ひとり一人に目が行き届くようにする。いじめ根絶に向けて、各学校が自主的に対策を強化するとともに、教育委員会が全面的にバックアップする体制を確立する。



佐藤 あつし

自由民主党
37歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

いじめはまず、その内容によっては犯罪であると認識すべきだと考えています。その上で、

- (1) 大阪府寝屋川市の監察課のような通報窓口と具体的指導権限を持った組織の構築を提案します。
- (2) 教育的指導をしつつ、重大なケースには、学校任せにせず、教育委員会が関与できる体制整備を目指します。
- (3) 学校側を法的に支援するスクール・ロイヤー制度のさらなる充実を図ります。



山下 ひろみ

日本共産党
55歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない



洪田 ちしゅう

立憲民主党
57歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない



小島 ただふみ

NHK党
47歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

まずは学校側がいじめを認知するための制度を確立すべき（現状は手遅れになってから公表したり、それでもいじめをいじめと認知しない学校が多い）

校内ではなく、校外にいじめを含めた学校の問題を相談できる窓口を設け、調査するための権限を与えるべきと考える。

ただ、どういった制度を整えてもいじめは無くなることは無い。制度や仕組みだけでなく、地域社会・学校・家庭、すべてを含めていじめをなくすための取り組みや話し合いを行う必要があると思う。

その上で、もしいじめがあった場合はどのようなケアができるのかを併せて考え、話し合っていく必要があると考えている。



小林 しょう

自由民主党
29歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない



中村 あきひろ

立憲民主党
42歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

学校の教師のいじめに対する意識を根本的に改め、学校の雰囲気全体がいじめは決して許さない体制作りを構築します。



中尾 さとし

自由民主党
48歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

学校に教員（篤護教諭）だけでなく、地域代表者やその他専門家を常駐してもらい、多角的に対策を行います。



木内 清

無所属
68歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

「いじめ」に関してその原因や理由は様々かと思います。

こちらも具体的なケースごとに検証や対策を講じなければと考えます。社会状況が変わり、子どもたちの生活スタイルも変化の中で、一番大切なのは地域の方が困ったときにともに悩み解決策を見出す中で、政策に反映させ、すみだの教育を変えていくことが大きなビジョンであります。貴校の研究結果とともに考えていきたいと存じます。

上記を踏まえつつ、現状私木内清は、保健室に専門医を置いて、いじめ対策初期に相談できる体制を整えたいと考えております。保健室の先生に子どもたちが頼るとき、カウンセリングにも長けた専門家がいて、連携が図れると思います。

その為に、まずは心理カウンセラーの充実が必要不可欠です。

保健の先生、カウンセラーの先生、そして担任の先生と、様々な目でも子どもたちを見守り連携を取りながら向き合うことのできる仕組みづくりに取り組みたいと考えております。

4.不登校について

墨田区では、小学生5年生の1.6%、中学二年生の3.3%が不登校経験者であるとのデータがあります（墨田区子どもの生活実態に関する分析報告書）。不登校対策の拡充や新たな支援を行いたいと考えていますか。



あべ よしたけ

自由民主党
41歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

不登校の原因が昔と今では変わってきています。まして、コロナの影響により家から出られなくなった子どもたちも少なくありません。学校に行かせるようにするのではなく、無理に学校に行かなくても学業に遅れない支援が必要と考えます。その中で学校に行きたくするような施策を打ち出していきます。



えんどう ミホ

立憲民主党
46歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

まずは、学校内に、学校になじめない子どもを受けとめられる人を手厚く配置した上で逃げ場と相談ができる居場所づくりをしたい



おおこし 勝広

公明党
58歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

今年度、全中学校にスモールステップルームを配置します。これは公明党としても強く要望してきたことであり、まずはこの現場をしっかりと見守ることが大事だと考えます。また、公明党が提案して2年間かけて議論し、まとめられた不登校・ひきこもり対策に関する提言書から、今年度に様々な事業が展開されています。そうした取り組みの検証があってから、次の対策だと考えます。



おまた 雄一

公明党
52歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

民間が行っている不登校対策の教室活用や不登校特例校などの検討を、引きこもり対策の特別委員会で引き続き議論していく



かのう 進

公明党
64歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

不登校の未然防止（授業改善、居場所づくり等）、多様な要因・背景により不登校となっていることへの理解と学習機会の保障（フリースクールへの助成等）



たかはし のりこ

公明党
50歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

不登校対策はこれまでも行っています。例えば、学校には行けませんが児童館や図書館などにいる児童・生徒を出席扱いとするよう推進しました。また公明党が提案したひきこもり対策特別委員会でも議論を行い、それに基づき今後墨田区として実施していくこととなります。



たて又 じゅんや

無所属
27歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

学校が嫌であれば無理して行く必要はないと私は考えております。学校に行かなくても成長できる環境や学習させる環境を親は用意する必要はあると思います。



とも 宣子

公明党
59歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

・学ぶ機会を確保・充実させるため、フリースクール等の民間による場の活用および学校との連携体制の構築、教育支援センターの機能強化、夜間中学の活用や不登校特例校の設置などの検討を議論し、対策を講じていく。



はねだ 福代

公明党
63歳



絶対に行きたい



行きたいと考えている



積極的に行動しようとは考えていない



必要ない



はら つとむ

日本共産党
41歳



絶対に行きたい



行きたいと考えている



積極的に行動しようとは考えていない



必要ない



みやこし よしひと

無所属
44歳



絶対に行きたい



行きたいと考えている



積極的に行動しようとは考えていない



必要ない

民間のオンライン授業とも連携しながら、家庭に負担を負わせることなく、こどもの第3の居場所の拡充なども行い、児童・生徒が登校して授業を受けさせるのが基本という考えから脱却した対策を取るべきだと考えます。



井上 ノエミ

無所属
61歳



絶対に行きたい



行きたいと考えている



積極的に行動しようとは考えていない



必要ない

区内にフリースクールを設置する



加藤 ひろき

自由民主党
35歳



絶対に行きたい



行きたいと考えている



積極的に行動しようとは考えていない



必要ない



加藤 拓

自由民主党
43歳



絶対に行きたい



行きたいと考えている



積極的に行動しようとは考えていない



必要ない

現行の各種施策の機能強化、適切な窓口への誘導。



高橋 まさとし

公明党
61歳



絶対に行きたい



行きたいと考えている



積極的に行動しようとは考えていない



必要ない



高柳 東彦

日本共産党
66歳



絶対に行きたい



行きたいと考えている



積極的に行動しようとは考えていない



必要ない

不登校になった要因の多くを子どもと家庭の状況にしているが、学校に行きたくない最大の要因が、差別・選別が強まっている、いまの学校のおかれた状況にあると考える。学校が本当に児童生徒にとって安心できる場になっているのか、まずきちんと検証して改善を図っていくことが急務になっている。



佐藤 あつし

自由民主党
37歳



絶対に行きたい



行きたいと考えている



積極的に行動しようとは考えていない



必要ない

不登校という言葉そのものが、日本の学校教育の限界を示していると思います。理想としては、既存のルールに敷かれた学校に行かずとも、多様な教育の選択肢があるべきだと考えています。その上で、現行の制度の枠内では、喫緊の課題として、
(1) 不登校特例校の設置について提案します。
(2) 学校復帰を目指す児童・生徒に対しては、ステップ学級の体制強化を図ります。
(3) フリースクールと学校の連携を強化します。



山下 ひろみ

日本共産党
55歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

今年度から墨田区はいじめ対策、不登校対策として全中学校にスモールステップルーム設置を拡充



伊田 ちしゅう

立憲民主党
57歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない



小島 ただふみ

NHK党
47歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

まずは不登校の原因をはっきりさせる必要がある。
いじめなのか、勉強なのか、学校そのものなのか・・・

現在、私には不登校の子どもに対し、具体的な政策や公約は持っていないが
先のいじめの件もそうだが、各事案に対しては対応方法が多岐に渡るため、まずはどんなことでも気軽に相談や話ができる場所を作ることを優先したい。



小林 しょう

自由民主党
29歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない



中村 あきひろ

立憲民主党
42歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

不登校の子供でもネットで勉強ができる、一定の条件がそろえば出席扱いにする等、様々な手法で誰ひとり置いてけぼりにしない仕組みを構築します。



中尾 さとし

自由民主党
48歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない



木内 清

無所属
68歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

iPadを用いることでメリットも大いにある一方で、
こどもの中には「使い方がわからず授業についていけない」「使い方がわからないふりをする」など様々な要因で授業を受けたくないとも考えることも多いようです。
これに関しては、学校関係者の皆様、保護者の皆様、そしてこどもたちと、様々な生の声を聞いて考えていかなければと思います。
同じ同級生の中でiPadに対する慣れ/不慣れに差があり、それがいじめに繋がっているというお話を伺う機会がありました。このような状況を解消するために、
まずは先生が学校と家庭、友人たちとの様子を見据え、"人的な"解決に取り組んでいけるような仕組みづくりが必要であると考えます。iPadだけに頼らず"人的な"解決をする仕組みを構築してまいります。

5.外国人の子育て

外国にルーツをもつ子どもの数が年々増えている一方、日本での子育てに不安を抱えている現状があります。
人口の4.6%が外国籍住民である墨田区において、外国人の子育てや外国にルーツを持つ子どもたちに対して支援を行いたいと考えていますか？



あべ よしたけ

自由民主党
41歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

小学校のPTAの案内などいろいろな言葉で案内をだしている小学校もあります。
日本語がわからない方にも、やさしく安心した小学校生活を送ってもらえるように 多様な言語での対応、コミュニティ作りを行っていきます。



えんどう ミホ

立憲民主党
46歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

子どもだけでなく、外国人の親も地域で、食を通じてできる交流の場を提供できるしくみをつくりたい



おおこし 勝広

公明党
58歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない



おまた 雄一

公明党
52歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

墨田区はすみだ国際センターという日本語支援の組織があるので、国や都と連携して支援をしていきたい



かのう 進

公明党
64歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

すみだ国際学習センターの機能充実（学習支援員の充足度の調査、巡回型の導入、保護者への支援）不就学児童の調査



たかはし のりこ

公明党
50歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

日本語だけでなく、多言語での相談支援ができる体制を強化していきたい。



たて又 じゅんや

無所属
27歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

外国籍の方に限りませんが、障がいやLGBTQなどいわゆる少数派の子育てに支援できるようなサービスは行政主導でやっていくべき課題だと考えますので、少数派の方に向けた相談する窓口を多く設けたいと考えます。



とも 宣子

公明党
59歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

・外国人やその子どもたちが日本語を学べる機会の充実と日本語教育水準の向上を推進する必要があると考える。
墨田区には日本語支援の組織として「すみだ国際学習センター」があるので、その振興と活用を進めるための支援を、国や都と連携して行っていきたい。



はねだ 福代

公明党
63歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない



はら つとむ

日本共産党
41歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

まずは日本語を覚えてもらうための日本語教育を徹底支援する。通訳の介助員を、時間で縛らずに使いたい放題にする。
日本語がわからないまま、授業が進んでしまうことは人権問題だと位置づける



みやこし よしひと

無所属
44歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

外国にルーツをもつ子どもが外見や言語のせいで他の子どもから差別を受けることは、コミュニティの排外的傾向を強めることも相まって絶対に避けなければいけません。
先進的な事例を参考に、墨田区でも対策を取るべきだと考えます。



井上 ノエミ

無所属
61歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

外国人のサポートグループを形成する、日本語サポートの充実



加藤 ひろき

自由民主党
35歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない



加藤 拓

自由民主党
43歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

より一層、日本語の習熟度や文化の相違に見合った支援を。



高橋 まさとし

公明党
61歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない



高柳 東彦

日本共産党
66歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

まず、未就学の子どもをきちんと把握して、全員が就学できるように支援を行う。子どもだけでなく、親も含めて、日本語や日本文化などを習得できる十分な場を提供すること。



佐藤 あつし

自由民主党
37歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

外国籍住民は、参政権はありませんが、行政権の対象であり、この国で生きている人間として、憲法に保障された基本的人権が保障される必要があります。その上で、

- (1) 多文化共生に関する住民の理解促進を行います。
- (2) 錦糸小学校等で具体的に課題となっていますが、言葉の壁についてハードルとならないよう、区の体制（すでに多言語対応していますが）を強化します。



山下 ひろみ

日本共産党
55歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない



洪田 ちしゅう

立憲民主党
57歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない



小島 ただふみ

NHK党
47歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

日本国籍を持つ子どもたちにすら、満足に支援できていない現状でそれを語ることは控えたい。
まずは国籍など問わず、全ての子育て世帯に対する支援・援助を拡充していきたい



小林 しょう

自由民主党
29歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない



中村 あきひろ

立憲民主党
42歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

外国籍の親御さんが日本語がしゃべれない、読めない現状があり、子どもが通訳や翻訳をしており、ヤングケアラーの状態にありますので、親御さんの日本語の勉強を助ける仕組みをつくります。



中尾 さとし

自由民主党
48歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない



木内 清

無所属
68歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

子どもの成長は早いものです。時として多忙な保護者でさえも、ついていけない時があります。
一例として錦糸小学校では子供能力をどのように判断すべきか議論が起きています。
具体的には、実際は子どもの能力は高く日本文化に自然と順応しているが、教師側・保護者がそれを認識しづらいという事態です。子どもは順応が早いのですが、保護者の皆様は新しい環境に四苦八苦、大変なご苦労をなさっています。保護者とお子様で会話をされると、授業についていけないのではないかと心配されるというお話を伺います。
その対応のためには英語に精通した教師が日本人教師と連携し子どもとの間に補助として入る等、子どもの本質を見極めるシステムを構築する必要があると考えます。
教師自身が一人一人の力をしっかりと見極めるということは勿論必須ですが、文化の違いという事に関しては双方の歩み寄りだけでは崩せない壁となる可能性があります。
例えば、日本ではお茶碗を持ってご飯を食べるように教育されますが、他国ではお行儀の悪い行為として見なされることがあります。また、顔を撫でるという行為についてもも然りです。
文化の違いというものは根深く、正す正さないの問題ではありません。お互いの文化を理解するためにも、まずは的確なコミュニケーションを取るために英語圏の言葉に精通した教師と親が学校内外の子供の様子について共有する必要があり、そのためのガイドラインを作成し整えていく必要があると考えます。
さらに、入学前には両親向けに入学後子どもが直面するであろう文化の違いや言語の違いについて事前に説明し、その点について学校側と家庭内でどのように連携を取っていくかを共有しておくことで、入学後に子供がなるべく早く日本の文化や言語に順応していく支援をするべきであると考えています。

6.LGBTQ+

近年の調査では、10代のLGBTQ+の48%が自殺念慮があるという結果があります。
LGBTQ+の子どもたちがより生きやすい地域にするための取り組みを行っていききたいと考えていますか？



あべ よしたけ

自由民主党
41歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



えんどう ミホ

立憲民主党
46歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうとは考えていない



必要ない

性的マイノリティに対する差別禁止条例を墨田区につくる



おおこし 勝広

公明党
58歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

生きづらさに寄り添う事、その原因を取り除くこと、改善することは絶対に必要です。ただ当事者の方々のご意見が聞けていないため、よってまずはそうした方々のご意見を伺い、具体的な対策を検討していききたいと考えます。



おまた 雄一

公明党
52歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

多様性を尊重する教育を引き続き行っていきたい



かのう 進

公明党
64歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

①LINE等を活用した相談しやすい体制づくり ②LGBTQ+にとって安全な環境整備（教職員のスキルアップ、生徒への情報提供）



たかはし のりこ

公明党
50歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



たて又 じゅんや

無所属
27歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



とも 宣子

公明党
59歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

当事者である児童生徒が不安や悩みを感じることなく学んでいけるよう、スクールカウンセラーを含め教職員すべてが性的指向や性自認について理解を進めるよう促すとともに、相談体制の充実など環境を整備していききたい。



はねだ 福代

公明党
63歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



はら つとむ

日本共産党
41歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行動しようと考えていない



必要ない

まずは、どのような問題なのかを区民に周知をする



みやこし よしひと

無所属
44歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行動しようと考えていない



必要ない

子どもも含めた全ての人に対して区独自のLGBTQ+差別禁止条例を制定して雇用差別などを無くすなど、パートナーシップ条例に加えて、区内でのSOGIEについての認識を浸透させていきます。同時に、小中学校で自分も他者も大切にする性のあり方や人との関わり方を学ぶジェンダー／人権教育を進めます。そして、いじめの未然防止と起きてしまった際のケアを行う体制もつくります。



井上 ノエミ

無所属
61歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行動しようと考えていない



必要ない

差別を禁止する条例の制定



加藤 ひろき

自由民主党
35歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行動しようと考えていない



必要ない



加藤 拓

自由民主党
43歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行動しようと考えていない



必要ない

自身がLGBTQ+の方と接した際に特に何も思わないので、どのような取組が必要なのか思いつかない。



高橋 まさとし

公明党
61歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行動しようと考えていない



必要ない



高柳 東彦

日本共産党
66歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行動しようと考えていない



必要ない

安心して気軽に相談できる場や居場所を整備するとともに、LGBTQ+に対する差別や偏見をなくすための啓発を抜本的に強化する。



佐藤 あつし

自由民主党
37歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行動しようと考えていない



必要ない

LGBTQ+も、いじめも、障害者も、実は課題は同様であると考えています。それは、それぞれの個性について、他者からの理解が得られず、差別されてしまう、ということです。こうしたことを解決するためには、当事者が何に悩んでいて、どういった対応を求めているのかを具体的に、私たちが理解することです。こうした相互理解社会を作っていくことが、ご指摘の課題も解決する最短の近道であると考えています。



山下 ひろみ

日本共産党
55歳



絶対に行きたい



行いたいと考えている



積極的に行動しようと考えていない



必要ない



洪田 ちしゅう

立憲民主党
57歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



小島 ただふみ

NHK党
47歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

5の回答と同様。

マジョリティの対しての支援・取り組みすら満足に行えない政府や自治体に、マイノリティの方へ向けての対策などできると思えない。
いじめ、不登校での回答同様、まずは色々な悩みを抱える子どもたちに向けて、それを吐き出し相談できる場所を確保したい



小林 しょう

自由民主党
29歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



中村 あきひろ

立憲民主党
42歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

一人ひとりの個性や抱えている課題の相談の窓口や、また社会全体が多様性を認める教育環境を推進していきます。



中尾 さとし

自由民主党
48歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない



木内 清

無所属
68歳



絶対に行いたい



行いたいと考えている



積極的に行おうと考えていない



必要ない

規則として髪型や制服が決められている学校がほとんどですが、男子であるからズボン履かなければいけないや、女子であるからスカート履かなければいけないという性別によって一括りにする規則では多感な時期に個々生徒の人間性を傷つけてしまう可能性があります。
学校という共同体において一定の規則は必要であると考えますが、その規則により自分のアイデンティティーが傷つけられたと感じ自らは声を上げることも出来ないという生徒がいることも事実です。学校を悩みの種とするのではなく、全ての生徒にとって心身ともに健全に通うことが出来る場所とするためには性別による服装や髪型の規則について見直す必要があると考えています。
この問題については、各生徒の目には見えないアイデンティティーを傷かすとも難しくナイーブな問題であると痛感しておりますが、CFAの皆さんはどのようにお考えでしょうか。
是非とも意見交換をさせて頂き、平成や令和を台頭されている若い皆さんのご意見も勉強させて頂きたいです。

7.親の支援に関して

昨今、「子育て罰」という言葉があるように、子育てを「自己責任」とみなし、親子を苦しめるような社会であることが問題となっています。子育て世帯の負担を減らし、子育てしやすい墨田区にするための支援を推進したいと考えていますか？



あべ よしたけ

自由民主党
41歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい

子育ては自己責任ではなく権利だと考えます。子育てをしやすいとする為の支援とは先にもお答えしたように、お金をただ配るのではなく、習い事に通わせる事に対して支援や遊び場作りを行います。



えんどう ミホ

立憲民主党
46歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい

行政がNPOと連携し、保育・介護などそれぞれのニーズにあったサービスを提供できるようなしくみをつくり、子育て世代の家族内の負担をとりぞく



おおこし 勝広

公明党
58歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい

子育てが「加育で」にならないよう、子育て世帯のご家族だけでなく、社会全体で育んでいく社会づくりが大事だと考えています。異次元の子育て支援と言われていますが、各自治体ごとの子育て支援についても、地域特性などを鑑みながら総点検し、早急に進めるべきと考えています。特に墨田区が多子世帯支援が極めて脆弱なので、まずはその点の強化を推進します。また放課後対策についても待ったなしの課題なので、学童クラブ以外の放課後の選択肢についても推進して参ります。



おまた 雄一

公明党
52歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい

公明党は古くから「チルドレンファースト」の考え方を基本にして、党の「少子社会トータルプラン」を進めてきた。今後は、昨年バージョンアップした「子育てトータルプラン」に基づき子育て支援に全力を尽くしたい



かのう 進

公明党
64歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい

国の取組み子どもを産むと年収が減るといわれる日本の働き方の改革を前提に、経済的負担の軽減だけではなく孤立化を防ぐための伴奏型支援の充実



たかはし のりこ

公明党
50歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい

公明党は子育て支援を第一に考えて進めています。昨年11月に「子育て応援トータルプラン」を発表し、経済的な支援・伴奏型支援の両面での支援を行います。



たて又 じゅんや

無所属
27歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい



とも 宣子

公明党
59歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい

公明党は以前から「チャイルドファースト」（子ども優先）社会の構築を目指して、少子社会トータルプランとして、妊娠・出産への支援・働き方改革・教育費の負担軽減を推進してきました。今後は、昨年さらに内容を充実させた「子育て応援トータルプラン」に基づき、切れ目ない子育て支援に全力を尽くしていきたい。



はねだ 福代

公明党
63歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい



はら つとむ

日本共産党
41歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい

子育ては自己責任だけではないと、アピールする。その上で相談場所の周知や、児童相談所の区への移管を準備し、子育て支援総合センターの体制強化をする



みやこし よしひと

無所属
44歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい

現在の子育て政策は、少子高齢化による経済の縮小を止めるための国の立場にとった少子化対策です。そのため、女性は子どもを産み、社会に出て活躍せよという無理難題を抱えつつ、家事育児労働が男性の5.5倍という現状に苦しんでいます。ジェンダーギャップを変えることを区の施策の大前提として、一人ひとりに向き合った子育て対策を行うために、既存の子育て支援センターの機能拡充、支援員増員などを行い、新規事業も検討すべきです。



井上 ノエミ

無所属
61歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい

社会全体で子育てを行う啓蒙活動、



加藤 ひろき

自由民主党
35歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい



加藤 拓

自由民主党
43歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい

保育所、学校等の手続きや連絡の煩雑さの解消。
子育てひろばの増設や一時預かり・定期利用保育の利便性の向上による育休中や在宅での子育て支援。



高橋 まさとし

公明党
61歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい



高柳 東彦

日本共産党
66歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい

気軽に相談でき、支援を受けられる多彩な仕組みをつくっていく。



佐藤 あつし

自由民主党
37歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい

今回の選挙戦で、私は「子育て支援に選択肢を」と訴えています。
私自身、4歳と1歳の子どもを育てている子育て当事者で、子育てはとても尊く楽しいことなので、「子育て割」という言葉はあまり好きではないのですが、おっしゃりたいことは十分理解しているつもりです。
問題なのは、核家族化、夫婦共働き、ひとり親家庭など、家族形態が多様化しているのに、社会制度が画一的なものにとどまっている点です。
例えば、私は学童クラブに配食弁当を導入すべきと議会で提案し、現在4か所で実現し、大変喜ばれています。お弁当を作っていく家庭があってもいいし、たまに配食弁当を作る家庭があってもいい。いつも配食弁当でもいい。こうした家族形態に応じて、多様な手段を選ぶことができる「選択肢を子育てに増やす」ことが、真に子育てを支援し、子育てを楽しめる墨田区になると確信しています。
こうした「子育て支援に選択肢を」私は作っていきます。


山下 ひろみ
 日本共産党
55歳
 絶対に推進していく
 できれば推進したい
 あまり推進する気はない
 今のままでよい


伊田 ちしゅう
 立憲民主党
57歳
 絶対に推進していく
 できれば推進したい
 あまり推進する気はない
 今のままでよい


小島 ただふみ
 NHK党
47歳
 絶対に推進していく
 できれば推進したい
 あまり推進する気はない
 今のままでよい

まず、子育て世帯の負担を減らすといっても、それは金銭的なことなのか・・・
 子育て自体の実務的なことなのか・・・
 あまりに抽象的で答えにくい、自治体が真っ先に行えることといえば金銭的な支援であると思う。
 そのことに関して墨田区はもっと支出していくべきと考える。


小林 しょう
 自由民主党
29歳
 絶対に推進していく
 できれば推進したい
 あまり推進する気はない
 今のままでよい


中村 あきひろ
 立憲民主党
42歳
 絶対に推進していく
 できれば推進したい
 あまり推進する気はない
 今のままでよい

給食費の無償化、就学援助費目の強化・予算拡充、放課後の学びの保障、学童保育の給食無償提供を実施し、負担軽減を進めます。


中尾 さとし
 自由民主党
48歳
 絶対に推進していく
 できれば推進したい
 あまり推進する気はない
 今のままでよい

一時保育の充実化を目指します。例えば、事前に保育カルテのようなシステムを構築し、マイナンバーカードを利用することにより、保護者と事業者の負担軽減を目指します。


木内 清
 無所属
68歳
 絶対に推進していく
 できれば推進したい
 あまり推進する気はない
 今のままでよい

昨今所得格差が問題視されているように親の所得により子どもの教育に差が生じてしまうことは避けなければなりません。
 行政の財源を確保し親の所得差により子どもへの負担が生まれないような社会にすべきと考えています。所得制限撤廃については日本の財政を踏まえ考えていく必要がありますが、墨田区民の皆様にとって身近な区政として子育てについて悩んでいらっしゃる方々のご意見を直接お伺いすることで、問題点を探り都政については国へと声を上げていきたいと考えています。

8.学校教育

通知表や宿題に代表される、画一的な教育によって苦しんでいる子や、学校にいけなくなる子が増えています。
こどもたち一人ひとりに合った学校教育を推進していきたいと考えていますか？



あべ よしたけ

自由民主党
41歳



集団生活やそれぞれのルールは学校のみならず社会人になってからも大切な事です。
『一人ひとりに合った学校教育』を推進するのは非常に難しく、なぜ学校に行けなくなってしまったのか...『一人ひとりに合った対応』をしていく必要が大切だと考えます。



えんどう ミホ

立憲民主党
46歳



少人数学級を実現し、先生の働き方を変えたい。通知表や学力調査など教育現場の現状を調査し点検する



おおこし 勝広

公明党
58歳



情緒障害児など、気づきのポイントが異なる子供に寄り添う教育がまだ弱いので、その点に注力が必要。
具体的には情緒障害児童を対象とした通級学級を固定級として新たに設置すべきと考えています。



おまた 雄一

公明党
52歳



かのう 進

公明党
64歳



たかはし のりこ

公明党
50歳



たて又 じゅんや

無所属
27歳



とも 宣子

公明党
59歳



一人ひとりの資質・能力が一層確実に育成できるような教育への転換が必要だと考えますが、具体的な政策について、調査・研究不足が否めないで、今後の課題とさせていただければと思います。



はねだ 福代

公明党
63歳





はら つとむ

日本共産党
41歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい

少人数学級の推進。サポートティーチャーの待遇を改善し、さらに増やしていく



みやこし よしひと

無所属
44歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい

すでに私立や民間で様々な試みがされているかと思えます。区立の学校でも現場の負担を増やすことなく、導入を進めていきたいと考えます。



井上 ノエミ

無所属
61歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい

学校を変えていくこと



加藤 ひろき

自由民主党
35歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい



加藤 拓

自由民主党
43歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい

それぞれで要因が異なるので、個々に見合った適切な対応を。



高橋 まさとし

公明党
61歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい



高柳 東彦

日本共産党
66歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい

少人数学級の実施や差別・選別につながるような教育環境の改善



佐藤 あつし

自由民主党
37歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい

学校教育として、一面的な評価制度は必要だと思っています。

他方で、その評価は多様であるべきだと思っています。例えば、私は勉強ができましたが、スポーツや図工等は苦手な児童でした。子どもにはこうした得意分野があり、それは個性です。一つで評価され、他方では課題として指摘される。こうしたメリハリがあってこそ、正しい評価であると思います。

現在、内申点は学習指導要領で絶対評価であるのに、相対的につけられてしまっており、学校間で不公平が出ている問題に取り組んでいます。こうした子どもを真正面からできたことを褒めていく社会を作りたいと思っています。



山下 ひろみ

日本共産党
55歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい



洪田 ちしゅう

立憲民主党
57歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい



小島 ただふみ

NHK党
47歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい

一人ひとりに合った学校教育というより、現状は一人ひとりに合った指導がしたくてもできない教師側・学校側の問題かと思える。
もっと先生側にもゆとりを持って働ける環境づくりが必要。
その上で、生徒一人ひとりに合った教育や指導をどうすれば行えるのかを考えていきたい。



小林 しょう

自由民主党
29歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい



中村 あきひろ

立憲民主党
42歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい

非認知能力を重視した教育を進めるため、文科省の教育大綱の一律化ではなく、本来的な自らの頭で考え、答えを出す教育方法を進めて行きます。



中尾 さとし

自由民主党
48歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい



木内 清

無所属
68歳



絶対に推進していく



できれば推進したい



あまり推進する気はない



今のままでよい

墨田区では小中学校において二学期制を採用することにより画一的な教育については和らいできています。
これは、これまで区民の方々や教育関係者の方から、三学期制では通知表に各内容が画一的になってしまい、授業やテストもそれに付随してしまうといったご相談を受けたことに端を発しております。
今後も一学期制では追いつかない多角的な視点で学校教育が行われるように引き続き二学期制を推進していきたいと考えています。

無回答者

あべ きみこ	坂井 ヌカコ
かんだ すなお	桜井 ひろゆき
しみず 良平	福田 はるみ
しもむら 緑	青柳 よしき
たきざわ 正宜	船橋 けんご
ちょうなん 貴則	村本 ひろや
としま 剛	大賀 やすろう
井上 かずお	大瀬 康介
井上 ひろき	大門 しろろ
稲葉 かずひろ	田中 さとし
堀 よしあき	藤崎 剛輝
甲斐 まりこ	樋口 敏郎

公開された連絡先なし

大塚 紀久雄
市川 じゅな
加藤 りょう